

実施報告 難聴 補聴器 よろず相談会

2016年3月6日

北広島町役場2階大会議室

報告者 井門謙太郎

平成28年3月6日（日曜日）、耳の日恒例の「難聴・補聴器よろず相談会」を北広島町の北広島町役場2階大会議室にて開催しました。非常にモダンな外観の建物で、周囲の風景からは明らかに異彩を放っていました。当日は広島大学病院、県立広島病院、広島市立安佐市民病院、市立三次中央病院から出向の医師6名、言語聴覚士2名が対応しました。



1) 受付・問診：

当日参加していただいた方にはまず受付で問診票を記入していただきました。



2) 聴力検査：つづいて、聴力検査を行いました。



3) 医師による診察：そののちに、耳鼻咽喉科医が診察をさせていただきました。



4) 補聴器試聴・調整

そして希望があれば認定補聴器技能者の資格をお持ちの方にお願ひして、補聴器の試聴やお持ちの補聴器の簡単な調節をしていただきました。



写真 補聴器試聴・調整

北広島町は実際に行ってみると非常にアクセスが良く、広島から車で、わずか 40 分程度で着いてしまいました。昨年開催した島での相談会では、あまり参加していただけなかったのが、今回も心配しましたが、3 月とは思えない暖かい気候にも恵まれ、18 名の方に参加していただきました。補聴器の試聴の際に、若干お待ちいただく時間帯もありましたが、それ以外は一人ひとりに時間を取って対応出来ましたので、満足していただけたと思います。皆様ありがとうございました。

個人的には眼の調節障害でしょうか（いわゆる〇眼です）、裸眼での診察が難しくなっていました。昨年までは特に感じなかったのが、つくづく自分の年齢を思い知らされました。この話を今回参加の諸先輩方に話したら、私はまだ軽いほうで、今後の傾向と対策をご教授していただきました。自分だけではない事に少し安心しましたが、さらに進むのかと複雑な気持ちです。来年はなんらかの文明の利器に頼らないと、交通整理しか出来なくなりそうです。

今回開催にあたり多大な協力をいただきました北広島町町役場の皆様、および県の更生相談所の皆様、どうもありがとうございました。

最後にスタッフの皆さん、ご苦労さまでした。来年も好評開催予定です（開催地は未定ですが）。